

事業所名

もくの木

支援プログラム

作成日

2025年

3月

14日

法人（事業所）理念		私たちは従業員並びに利用者を選択できる機会を、感謝の気持ちを持てるような人生の一旦を支えています(法人) 明るく楽しい未来のために選択肢の幅が広がるように(事業所)					
支援方針		小学校に上がる前の準備期間として就学に必要なスキルを身につけるよう支援します					
営業時間		9時00分	から	18時00分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	来所後の準備の時間にうがい手洗いの実施、運動後の着替えの時間を確保し、できることを増やしていきます。また、クッキングなどの療育時間を通して、計る、混ぜる、調理器具を使う際に器具の使い方や分担して行うなど生活スキルの向上を図っていきます。					
	運動・感覚	運動療育、サーキット活動を通して、粗大運動を行い、運動に必要な体の動かし方の練習を行います。リズム活動や机上課題の塗り絵などを実施し、微細運動の練習を行います。それらの時間の中でできることを少しずつ増やし、できることは褒め、できないことは一緒に行うことで挑戦する気持ちを持ってもらい、自己肯定感をあげていく支援を行います。					
	認知・行動	自由遊びや運動療育、自立課題、机上課題を通して、話を聞く、「どうぞ」といってから活動を始めるなど、ルールを守りながら活動できるように支援していきます。一日のスケジュールをはじめりとおわりの挨拶時にお当番さんに読み上げてもらうことで、見通しをもった活動ができるように支援しています。お当番の活動時に日付のや曜日の確認をし、文字や数字の認知ができるように支援しています。					
	言語 コミュニケーション	嫌なことを困ったことが言えない子には個々に合わせて、代弁や選択肢を出しながら、今どんな気持ちなのか問い、どうしたいのか聞き出しながら自分の言葉で表現できるよう支援していきます。職員、他児との関わりが持てるようグループ活動を行っています。					
	人間関係 社会性	今は何をやる時間なのか子供たちに投げかけたり、s s tなどを行うことで自分の気持ちや相手の気持ち、どうしたらいいのかどういばいいのかなどを伝えています。その中でルールやマナーを守っていけるよう支援しています。失敗したときは責めるのではなく、ふわふわ言葉を使うなど幼児期に必要な社会性が養われていけるよう支援していきます。					
家族支援		連絡ノートや口頭、LINEなども活用し、保護者にもくの木での様子を伝えたり、保護者さまの話を真摯に受け止め、助言も行っていきます。		移行支援		保育園、保育所、幼稚園などへの訪問、見学を行っています。	
地域支援・地域連携		地域での買い物学習や施設外活動を行っています。街中探索をしながら、地域へ出向いたりもしています。		職員の質の向上		職員教育など未実施の部分も含め、引き続きスキルアップ研修などを受講予定していきます。	
主な行事等		買い物学習(道の駅や近隣のお店に買い物へ行きます。) 月のクッキングとは別にクッキングを月1回行っています。夏は水遊び、冬はスケートなど 夏祭りや氷祭り、動物園への見学、消防署への見学を行っています。					